

最近の肝臓病に関する医療情報（2026.03）

最近の各種メディアの記事から肝臓病に関する話題を紹介します。

1. GSK、B型肝炎ウイルス持続感染に対する治療薬としてベピロビルセンを日本で承認申請

2月26日にグラクソ・スミスクライン株式会社（以下 GSK）が、成人の B 型肝炎ウイルス持続感染の治療薬として開発中のベピロビルセンについて、厚生労働省に製造販売承認申請をしたと発表しました。

日本においてベピロビルセンは、2024 年 8 月に**先駆的医薬品**に指定されています。先駆的医薬品指定制度は、「治療薬の画期性」、「対象疾患の重篤性」、「対象疾患に係る極めて高い有効性」に加え、「世界に先駆けて日本で早期開発・申請する意思・体制」が指定要件とされているもので、この日本での申請は、世界で初めてのことです。

この薬剤は、B型肝炎の**機能的治癒**（すべての治療を中止後少なくとも 24 週間にわたり、HBV DNA およびウイルスタンパク質である B 型肝炎表面抗原(HBs)と HBV DNA が、血液中で検出されないほど低いレベルになり、薬物療法をせずに患者さん自身の免疫システムによって制御できるようになること）を目指す初めての薬剤となります。

今後の各種審査制度を使った早期の承認が期待されます。

GSK の発表資料は、以下の QR コードからご覧ください。

<https://jp.gsk.com/ja-jp/news/press-releases/20260226-bepirovirsen/>



この薬剤については、大阪大学の感染制御学講座が YouTube で解説しています。下記 QR コードからご覧になれます。

<https://www.youtube.com/watch?v=IeOSrBOlNsQ>



B型肝炎の機能的治癒を目指す薬剤は、他にもいくつか開発が進んでいます。「友の会だより」の 208 号に記載しておりますのでご参照頂ければ幸いです。

以上